

人材育成、地域振興に更なる連携

—川崎市と包括的協定を結ぶ—

68
※詳細はホームページをご覧ください。

（文部科学省の『社会人の学び直し』に対する応援教育推進プログラム）に採択

第二の人生における活躍の場・職業復帰や起業支援のために、社会的起業への参画の場を創造することを目的に、都市型コミュニケーション・ビジネスのリーダーを育成する。11月末から開講。3ヶ月間で、大学院レベルの講義を行う。募集人員は30人。募集期間は11月4日から15日。問い合わせ、募集要項の申し込みはエクスランションセンター事務課へ。☎044(91)12



▲ 第1回の講義を担当した川崎市総合企画局主幹（施策推進担当）の高橋哲也氏。今後、産業構造の変遷とその行方、環境施策の課題と対策、多様な街づくりの狙いと効果など、幅広い政策分野の講義が予定されている



▲ 専修大学全学応援団



▲ マジックサークル



▲ スwinging Jazz研究会

協定に基づく新たな取り組みのうち主なもの

団塊世代や子育てを終えた主婦らを対象に地域ビジネスのリーダー育成
■KS（川崎・専修）「ミニニティ・ビジネス・アカデミー」の開講



▲ 固い握手を交わす日高学長と阿部市長（右）＝川崎市役所で

■川崎市特別講座「新時代の都市振興」
経済学部の特殊講義として、川崎市職員が講師となり産業振興、街づくり、環境施策などを講義する。

10月3日、専修大学と川崎市は、連携して相互の人材育成・人的交流推進を図ることも、人的資源、知的資産や地域資源を活用した地域振興事業などに向け、連携・協力して取り組む基本協定を締結した。これまでの連携を一層強める協定内容となっている。

10月3日、専修大学と川崎市は、連携して相互の人材育成・人的交流推進を図ることも、人的資源、知的資産や地域資源を活用した地域振興事業などに向け、連携・協力して取り組む基本協定を締結した。これまでの連携を一層強める協定内容となっている。

川崎市役所で行われた調印式で、日高義博学長は、「地域貢献は、大学が果たすべきミッションの一つ。これまで築いてきた川崎市とのパイプを一層強くして、キャンパス内の学びを地域の発展に生かしていきたい。

11月末からは、文部科学省の委託事業に採択された『KS（川崎・専修）コミュニケーション・ビジネス・アカデミー』（9月号既報）がスタートする。川崎市から協力を得て、地域リーダーを育成していく。阿部孝夫市長は「いま

この協定を機に、生田キャンパスで川崎市職員を講師に経済学部3、4年次生対象の特別講座

「新時代の都市振興」（担当：徳田賢二教授）が10月から13回、オムニバスで行われることとなり、10月7日、「21世紀

をリードする川崎市の将来像」の講義が行われた。

●「専修大学」ホームページ・<http://www.senshu-u.ac.jp/>

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区北
京10番地
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

卒業生の集い「ホームカミングデー2008」11月2日に開催…寄稿「ロンドン五輪に向けた“戦い”は始まっている」…北京五輪日本選手団員として参加 久木留毅文学部准教授…学生就職アドバイザーに気軽に相談してみよう…石巻専修大学 石鳳祭2008を開催／創立20年記念事業を展開…北海道短大 体育祭で汗流す／専大フットボールで稻刈り実習…

「創立129年鳳祭」10月30日（前夜祭）から11月2日まで開催…

⑧ ⑦ ⑥ ④ ③ : ②

テレホンサービス

（お知らせ・緊急連絡）

0180-994-994

本紙へのご意見をお聞かせください
koho@acc.senshu-u.ac.jp

専修大学育友会（日南川裕

一會長）の創立50周年記念式

典・祝賀会が10月4日、東京

・グランドプリンスホテル赤

坂で開かれ、育友会員、大学

関係者ら350人が出席し

た。

日南川会長のあいさつ、日

高義博理事長・学長の来賓祝

辞に続き、50周年記念事業の一環として、4人の創立者が本学の前身である「専修学校」を創立するまでの軌跡とそこに込められた建学の精神を描いた『蒼翼の獅子たち』を執筆した直木賞作家・志茂田景樹氏が「いま、創立者たちの絆に触れよう」と題して記念講演を行った。

祝賀会は、50周年記念事業実行委員長の神成邦興副会長があいさつ。創立者物語の正志茂田景樹氏が「いま、創立者たちの絆に触れよう」と題して記念講演を行った。

祝